



2026年  
5月13日  
No.A25-01

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2026年4月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・4月10日(金)、李 赫 駐日本国大韓民国大使館 特命全権大使「新たな60年に向けた韓日関係」(於：オークラ東京)

#### <要旨>

日本と韓国の現在の関係や、今後の経済関係の見通しなどについて説明があった。



#### (3) 中東情勢オンライン講演会

・4月28日(火)、向 賢一郎 駐クウェート大使「クウェートから見た中東湾岸情勢について」(Zoom形式)

#### <要旨>

大使より、クウェートの政治・経済状況や日・クウェート関係、エネルギー輸出をめぐる動向など、多岐にわたるテーマについて説明があった。質疑では、クウェートのパレスチナ問題へ対応や食料安全保障をめぐる動き、石油産業の展望などについて、多数の質問が寄せられた。



### 2. 中東調査会の活動

#### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2026年4月号(2026年5月13日付)

1. イラン：「ペルシア湾の日」に際したモジター最高指導者のメッセージ
2. イラク：新大統領と新首相候補の選出
3. トルコ：「アンタルヤ外交フォーラム」の開催と4カ国外相会談の実施
4. ヨルダン：UAEと23億ドル規模の鉄道プロジェクトを始動
5. エジプト：首相、北シナイを主要な総合開発拠点に変えると明言

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

#### (2) 中東かわら版の発行

- ・No.1 「バハレーン・クウェイト：テロ組織の摘発とイランによる重要施設を狙った攻撃」(主任研究員 平寛多朗、4月2日)

- No.2 「イスラエル：イスラエル政府、停戦合意にレバノンに含まれないと投稿」(主任研究員 平寛多朗、4月8日)
- No.3 「イラン：国家安全保障最高評議会が米国との交渉について声明を発表」(研究主幹 斎藤正道、4月8日)
- No.4 「レバノン：レバノンはアメリカとイラン間の「停戦」に含まれない」(特任研究員 高岡豊、4月9日)
- No.5 「トルコ：イスタンブルのイスラエル総領事館周辺で銃撃戦が発生」(上席研究員 金子真夕、4月9日)
- No.6 「イスラエル：国民の停戦への不満とレバノン攻撃継続支持が明らかに」(主任研究員 平寛多朗、4月13日)
- No.7 「ヨルダン：「ヒジャーズ鉄道」への動きと安全保障」(主任研究員 平寛多朗、4月14日)
- No.8 「アルジェリア：教皇レオ14世の来訪中に2件の自爆攻撃が発生したとの報道」(主任研究員 高橋雅英、4月16日)
- No.9 「トルコ・イスラエル：「ネタニヤフはヒトラー」、「エルドアン、くたばれ」と両国が罵り合い」(上席研究員 金子真夕研究員、主任研究員 平寛多朗、4月17日)
- No.10 「バハレーン・クウェイト：イラン情勢を受けた法改正の動き」(主任研究員 平寛多朗、4月20日)
- No.11 「エジプト：家族法改正の議論が進む中、扶養料不払い者が出国禁止へ」(主任研究員 平寛多朗、4月20日)
- No.12 イラク：チグリス川の汚染により多大な漁業被害が発生(特任研究員 高岡豊、4月23日)
- No.13 「ヨルダン：ムスリム同胞団系の政党が改名」(主任研究員 平寛多朗、4月27日)
- No.14 「パレスチナ：20年ぶりにガザ地区が参加するも、問題を露呈した地方議会選挙」

(主任研究員 平寛多朗、4月30日)  
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (3) 中東分析レポート 【会員限定】

- No.1 「米国・イスラエル・イラン戦争の評価と展望——地域主要国と周辺地域の立場から——」(中東調査会、4月1日)
- No.2 「エネルギー海峡の今——ホルムズ海峡とパーブ・マンドブ海峡——」(研究主幹 斎藤正道、特任研究員 高岡豊、主任研究員 高橋雅英、4月10日)

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

### (4) その他の活動

- 東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/中東を理解するキーワード」へ当会研究員が出講した。
- ① 「オリエンテーション」(主任研究員 平寛多朗、4月8日)
- ② 「エネルギー」(主任研究員 高橋雅英、4月15日)
- ③ 「環境」(主任研究員 高橋雅英、4月22日)
- 4月15日、内閣府国際平和協力本部で、シナイ半島国際平和協力隊の隊員予定者に対する研修を「エジプト、イスラエルの文化・慣習」(主任研究員 平寛多朗)と題して行った。

## 3. その他

### (1) 要人往来

- 1日、茂木外相は、クウェイトのジャッラーハ・ジャービル外相と電話会談を行った。
- 1日、茂木外相は、トルコのフィダン外相と電話会談を行った。
- 2日、茂木外相は、サウジアラビアのファイ

- サル・ビン・ファルハーン外相と電話会談を行った。
- ・6日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。
- ・7日、高市首相は、アラブ首長国連邦のムハンマド・ビン・ザーイド大統領と電話会談を行った。
- ・7日、茂木外相は、エジプトのアブドゥルアーティー外相と電話会談を行った。
- ・8日、高市首相は、イランのペゼシュキヤーン大統領と電話会談を行った。
- ・8日、茂木外相は、ヨルダンのサファディー外相と電話会談を行った。
- ・9日、茂木外相は、オマーンのバドル・ブーサイディー外相と電話会談を行った。
- ・14日、高市首相は、オマーンのハイサム国王と電話会談を行った。
- ・15日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。
- ・15日、茂木外相は、バハレーンのザヤーニー外相と電話会談を行った。
- ・19日、大久保ガザ再建支援担当大使は、ベルギーの首都ブリュッセルで開催された「パレスチナ支援調整委員会」閣僚級会合に出席し、パレスチナのムハンマド・ムスタファー首相と意見交換を行った。
- ・21日、高市首相は、カタルのタミーム首長と電話会談を行った。
- ・22日、大久保ガザ再建支援担当大使はエジプトを訪問し、同国のアブドゥルアーティー外相と会談した。
- ・23日、高市首相は、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマーン皇太子兼首相と電話会談を行った。
- ・30日、高市首相は、イランのペゼシュキヤーン大統領と電話会談を行った。

#### **4.5月の予定**

- ・5月15日（金）、10:30～11:30、第34回「中東情勢分析発表会」（研究主幹 斎藤正道「点から線へ——イラン情勢と地域秩序の現在地」）
- ・5月20日（水）、10:30-12:00、中東情勢講演会（武田善憲・中東第一課長「最近の中東情勢」）
- ・5月末日、『中東研究』第556号（2026年度 Vol. I）が発行予定。特集は「中東と水問題」。

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもあります。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。  
(<https://www.meij.or.jp/event/>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。